

前期日程

教科
国
語

(人文学部・教育学部)

注
意

- 1 開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。
- 2 問題は一ページから十一ページにわたっている。問題冊子に不備がある場合は、直ちにその旨を監督者に申し出ること。
- 3 解答用紙は三枚で、問題冊子とは別になつてある。解答は、すべて解答用紙の所定の欄に記入すること。解答用紙の所定欄以外に記入した解答は、評価(採点)の対象としない。
- 4 志望学部・受験番号は、解答用紙三枚の所定の欄(志望学部各一か所・受験番号各二か所)に記入すること。
- 5 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。

実施年月日
-5.2.25
富山大学

次の文章を読んで後の問い合わせに答えなさい。

著作物引用箇所のため非公表

著作物引用箇所のため非公表

著作物引用箇所のため非公表

(足田雅昭『文学理論入門——論理と国語と文学と』より。出題の都合上、漢字や表記などを一部改めた箇所がある。)

(注一) フロイト——オーストリアの心理学者、精神科医。精神分析学の創始者として知られる。一八五六——一九三九。

(注二) 「リング」——鈴木光司作のミステリ・ホラー小説。

問 1 傍線部ア(イ)(エ)オの片仮名を漢字に直し、(ウ)の漢字の読み仮名を書きなさい。

問 2 空欄I、IIに入る語として適切なものを次の選択肢から選び、記号で答えなさい。

ア 絶対化 イ 相対化

問 3 傍線部①「文学史」とはどのようなものであると筆者は考えているのか、「価値観」という語を使って説明しなさい。

問 4 波線部「志賀直哉」について、所属する流派をア～エから、作品をオ～シからすべて選んで、記号で答えなさい。

ア 無頼派 イ 新思潮派 ウ 白樺派 エ 新感覺派

オ 今年竹 カ 友情 キ 明暗 ク 和解 ケ 人間万歳 コ 薙車 サ 斜陽

シ 暗夜行路

問 5 空欄i～viに入る語としてより適切なものを次の選択肢から選び、記号で答えなさい。

ア 大文字 イ 小文字

問 6 傍線部②「物語の登場人物をよく知つてゐることと、現実の人間をよく理解してゐることは、さほど変わらない構造によつてなされてゐる」とはどういうことか、説明しなさい。

問 7 傍線部③「伝達以外の要素」と同じ内容を指す語句を文中から抜き出しなさい。

2

は、
次のページ
から始まります。

次の文章を読んで後の問い合わせに答えなさい。

著作物引用箇所のため非公表

著作物引用箇所のため非公表

著作物引用箇所のため非公表

著作物引用箇所のため非公表

(佐江衆一『黄落』より。出題の都合上、漢字や表記などを一部改めた箇所がある。)

問1 空欄①に入る表現として最も適切なものを次の選択肢から選び、記号で答えなさい。

ア 切り回した イ やりこなした ウ 目をつぶつた エ しのいだ オ ねばりぬいた

問2 傍線部②「神経が逆立つてている」とはどのような意味か、簡潔に説明しなさい。

問3 空欄③に入る表現として最も適切なものを次の選択肢から選び、記号で答えなさい。

ア 損な性分なんだよ イ がんこなんだよ ウ 底意地が悪いんだよ エ やさしそぎるんだよ オ しつこい性格なんだよ

問4 傍線部④「父だって有難いと思つてゐるのだ」という言葉を「私」が實際には発言しなかつたのは、どのような心情からか、説明しなさい。

問5 傍線部⑤「妻は寂しそうな表情をした」のはなぜか、文中から読み取つて、答えなさい。

問6 傍線部⑥「私はあとの言葉を胸に聞えさせた」とあるが、「私」が言えなかつた「あとの言葉」を推測して書きなさい。

問7 傍線部⑦「私はいたたまれなかつた」という表現から読み取れる私の心情を説明しなさい。

次の文章は『建礼門院右京大夫集』の一節で、作者が恋人であつた平資盛の死を嘆き悲しみ、都を離れる場面である。これを読んで後の問い合わせに答へなさい。

心ざしの所は、比叡坂本のわたりなり。雪はかき暗し降りたるに、都は遙かに隔たりぬる心地して、「何の思ひ出でにか」と心細し。夜更くるほどに、雁の一列、このゐたる上を過ぐる音のするも、まづあはれとのみ聞きて、^(a)すぞろにしをしとぞ泣かるる。

⁽¹⁾憂きことは所がらかとのがるれどいづくもかりの宿と聞こゆる

関ひとつこそ越えぬるは、いくほどならじを、梢に響くあらしの音も、都よりはことのほかに烈しきに、

関越えて幾雲居までへだてねど都には似ぬ山おろしかな

^(b)つくづくと行ひて、ただ一筋に見し人の後の世とのみ祈らるるにも、なほかひなきことのみ、思はじとも、またいかがは。外^{そと}面を立ち出でて見れば、橘の木に、雪深く積もりたるを見るにも、いつの年とや、大内にて、雪のいと高く積もりたりしあした、宿直姿のないばめる直衣にて、この木に降りかかりたりし雪を、さながら折りて持ちたりしを、「など、それをしも折られけるにか」と申ししかば、「わが立ちならす方の木なれば、契りなつかしくて」と、言ひし折、ただ今と覚えて、悲しき」とぞ言ふ方なき。

たちなれし御垣^{みかき}内のたちばなも雪と消えにし人や恋ふらむ

と、まづ思ひやらるる。この見る木は、葉のみ茂りて色もさびし。

⁽⁵⁾言問はむさつきならでもたちばなに昔の袖の香は残るやと

(注) 心ざしの所——行こうと思つた所。

所がら——その場所に備わつてゐる様子や性質。場所がら。土地のせい。

関——ここでは、逢坂の関(山城国と近江国の境)のことを指す。当時は、逢坂の関を越えれば「旅」として認識されていた。

大内——内裏。宮中。

ないばめる——長く着てくたくたになる。

わが立ちならす方の木——私が立ち慣れて親しむようにしてゐる方の木。紫宸殿の南階下には桜と橘の木が植えられていたが、資盛は官位の關係上、西側に植えられている橘の木の側に立つことになつていた。

- 問1 傍線部(a)「すずろに」、(b)「つづくと行ひて」を、本文に即して現代語訳しなさい。
- 問2 傍線部①「憂きことは…」の歌に込められた作者の心情について、本文に描かれた状況を踏まえて説明しなさい。
- 問3 傍線部②「幾雲居までへだてねど」と同様の意味を表す表現を、本文中から十字以内で抜き出しなさい。
- 問4 傍線部③「ただ一筋に見し人の後の世とのみ祈らるる」について、省略されている語句を補つて現代語訳しなさい。
- 問5 傍線部④「悲しきことぞ言ふ方なき」とあるが、作者がこのような思いを抱いた理由について、具体的に説明しなさい。
- 問6 傍線部⑤「言問はむ…」の歌は『古今和歌集』収録の「さつき待つ花櫻の香をかげば昔の人の袖の香ぞする」を踏まえたものである。適宜必要な語句を補つて、傍線部⑤の歌を分かりやすい現代語で解釈しなさい。

見
本

1						
問 7	問 6	問 5	問 4	問 3	問 2	問 1
		i 流派			I (ア)	
		ii			II (イ)	
		iii 作品			(ウ)	
		iv			(エ)	
		v			(オ)	
		vi				

教 科
国 語

解

答

用

紙

志 望 学 部
学 部
受 驗 番 号

受 驗 番 号

得 点 欄 1

国 語
得点欄
1

見本

2

問 7	問 6	問 5	問 4	問 3	問 2	問 1

教科国語

解

答

用

紙

志	望	学	部
学 部			
受	驗	番	号

受 驗 番 号

得 点 欄 2

国語
得点欄
2

見本

3					
問 6	問 5	問 4	問 3	問 2	問 1
					(a)
					(b)

教科
国語

解 答 用 紙

志	望	学	部
		学	部
受	驗	番	号

受 驗 番 号

得 点 檯 3

国語
得点欄
3